



ひとしごと館

HITOSHIGOTO-KAN



事業報告書

ANNUAL REPORT

2019.04 >>> 2020.03

より多くの方がひとしごと するために

2019年度は有識者の方々にもアドバイスいただき、どんな価値や可能性がひとしごと館にあるか整理しました。また、今後どのような方々とひとしごと館が関わっていくと、地域にとってより良い事業になるのか検討しました。

地域の活動には参加することが少ない企業勤めの方や地域資源を知らない方々こそ、家族や自分の人生を振り返り、介護離職予防や地域での孤立を防ぐ予防的視点としてひとしごと館の活用を考えていただくことが必要だと考えています。



有識者からの応援メッセージ

自身や家族の大切な人生のために

仕事はいつか老いて手放すこととなり、「さあ、あなたは何がしたいですか」と突然問われます。その時のために、若いうちから家族と生活について話し合うことで、自身が大切にしたいことに気づくことができます。また、人生を積み重ね、家族の介護を担うようになると、身体の動きや記憶が制限される中で、どう生きているのか知ることができます。その際にも家族や自身の大事な生き方に気づく機会があるでしょう。

ただ、介護に関しては全て家族で担うと疲れ果ててしまいます。

NPO法人となりのかいご 代表理事

川内 潤さん



実際、私が行っている介護相談では地域を頼れず苦しんでいる方ばかりです。だからこそ地域に頼らなければなりません。その氷を解かし、それぞれの人がつながり活躍できる場をつくるのが「ひとしごと館」だと思います。

地域とのつながりは、福祉の課題の多くをまるでなかったかのように解消することができます。私も微力ながらお力添えできればと思いますので、ぜひ地域の中で役割を担い続けてください。